

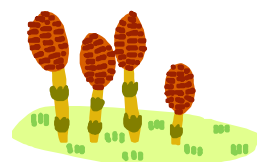
北海道社会保険病院だより

平成22年3月発行 第42号

発行・編集 北海道社会保険病院 企画室

腎臓の働きと腎臓病について

腎臓内科部長 橋本 整司



腎臓内科

腎臓内科は、名前のとおり腎臓を専門的に診察する内科です。腎臓内科は全道でも函館、室蘭、旭川、釧路、札幌にしか標榜している病院はなく、全国的にも専門医が少ない科です。当院の2名の常勤医は腎臓学会・透析医学会の専門医資格を持っています。そのため遠方から通われている患者さんもいます。

腎臓

腎臓はおなかの後ろ側に左右2つあり、ソラマメのような形をしています。大きさは握りこぶしより小さめで、重さは1個で150g前後です。大動脈から腎動脈という血管を介して腎臓に血液が送り込まれ、血液から水や尿の成分が濾過され、老廃物は膀胱へと流れ、排泄されます。

腎臓は体重のわずか0.3%程度ですが、心臓から送られる血液の20-25%を受け入れる全身で2番目に血液に富んだ臓器です。(1番目は脳)その血液が腎臓を通過する際に血液から尿が作られます。

腎臓の働き

腎臓は体にとって不必要なものを尿として捨てる働きをします。詳しくは、

① 体の水分を調節する。

(不要な水分を体外に尿として捨てる)

② 毒素を体外に出す。

(尿に溶かして、毒素を捨てます。そのため尿には黄色っぽい色がついていたり、匂いがしたりします)

③ 体が酸性にならないように、中性になるように調整します。

④ 貧血をなおすホルモンを作る

(腎臓は血の濃さを感じし、貧血にならないようにホルモンを出し調整します。そのため腎臓が悪くなると、貧血になります)

⑤ 骨を強くする活性型ビタミンDを作る

(腎臓は骨との関係が非常に強く、カルシウムや副甲状腺とも関わります。腎臓が悪くなると骨粗鬆症が起こります)

⑥ 血圧を調整します。

尿を作るのは皆様も良く御存知だと思いますが、意外で重要な役割のひとつが血圧の調整です。体内の水分量の調整だけではなく、血圧に関連するホルモンを分泌し、血圧を維持しています。腎臓が悪くなると一般的に高血圧になります。東京の大学病院などでは、「腎・高血圧科」として標榜しているところも結構あります。

腎臓病

腎臓病はCKD (Chronic Kidney Disease)

とも言われます。腎臓固有の病気と、糖尿病のように全身の病気の一部として腎臓病がでてくるケースの2種類があります。

腎臓固有の病気としては、IgA腎症に代表される慢性糸球体腎炎などの病気がよく知られています。が、現在日本では全身病である糖尿病による腎臓病の患者さんが最も数が多くなっています。

病気の種類に関わらず、腎臓が悪くなると、機能が落ちることを腎不全といいますが、腎臓の機能が低下すると、老廃物が体内に蓄積したり、上記の色々な症状が出てきます。さらに病気が進行して腎不全の末期に尿毒症に至ると、肺水腫などを起こし命の危険がでてきます。そうなる前に人工透析などが必要となります。

透析の方法は血液透析と自分のお腹の腹膜を利用し自宅で行う腹膜透析(CAPD)があります。当院ではどちらの透析方法も選択可能です。また、腎臓移植手術を受ける方もいらっしゃいます。この場合は大学病院などに紹介となります。透析患者さんは身体障害者などの公的扶助をうけられます。病気に関する詳しいことは御気軽に御相談ください。

「在宅医療」について

総合医療相談部

地域医療連携室看護係長 斉藤 広美

「在宅医療」という言葉を
ご存知ですか？

最近まで、医療を受けるため
には「入院するか」「外来
通院するか」の二通りの方法
しかありませんでした。

しかし、現在は医学の進歩
に伴い、患者・家族が住み慣
れた自宅で医療処置を受けな
がら生活することができるよう
「在宅医療」が発達しました。

では、具体的に「在宅医療」
ではどのようなことが可能な
のでしょうか？

酸素などの医療機器の管理、
点滴・胃瘻による水分と栄養
の補給、傷や管などの手当て
等を行いながら在宅で療養す
ることが可能です。

しかし「在宅医療」を受け
るには、様々なサービス機関
の利用が必要になります。

医学的管理をする「訪問診
療医」、医師の指示で処置を
行ったり身体のケアをする

「訪問看護師」、買い物や調
理・入浴など身の回りの世話
をする「ホームヘルパー」な
ど、たくさんの職種の方がサ
ービスを提供し、患者さんとご
家族を支えます。


他にも、介護保険申請を行
う「介護認定」を受けること
により、「介護保険」を利用
したサービスを利用すること
もできます。

「病気になってしまったか
ら」「障害が残ってしまった
から」ということで、自宅
での生活をあきらめる前に、ま
すは、どのように生活してい
きたいかを、相談してみませ
んか？

どのようなときにどうい
ったサービスを受けることが
できるのか、あるいはどのよう
な制度を利用することができ
るのか、といったことの判断
はなかなか難しいものです。

総合医療相談部
地域医療連携室
医療相談室

外来棟
新患受付横
相談時間
月曜日～金曜日
9時～17時



総合医療相談部 地域医療連
携室には看護師、総合医療相
談部 医療相談室には社会福祉
士があり、患者さんとご家族
に、在宅生活の準備を入院中
から整え、安心して生活でき
るよう支援させていただきま
す。

また、退院後も継続して患
者さんのケアをサポートし、
通院治療中の患者さんの日常
生活や、「ご家族への介護相談・
アドバイスを行います。

サービス機関の利用などの
ご相談は総合医療相談部へお
尋ねください。

健康教室のご案内

2010年1月より、糖尿病教室から
健康教室へリニューアルしました！
今までよりも幅広く、健康全般をテー
マに、医師、看護師、薬剤師等がお
話をいたします。
みなさま、ぜひお立ち寄りください。

どなたでも**無料**でご参加いただけます

4月・5月の予定

| | | | | | | |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 4月 | 21日(水) | 22日(木) | 23日(金) | 26日(月) | 27日(火) | 28日(水) |
| 5月 | 19日(水) | 20日(木) | 21日(金) | 25日(火) | 26日(水) | 27日(木) |

※講話内容については案内チラシをご覧ください。

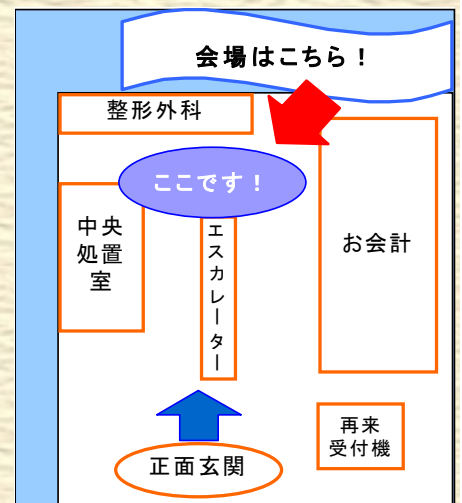
★これまでの講話内容例…

- 医師／「血糖値が高いと言われたあなたへ～糖尿病とは？」
- 管理栄養士／「簡単！減塩マジック～これであなたも減塩名人～」
- 理学療法士／「歩いて健康～ウォーキングのすすめ～」

場所 外来棟 1階
ホスピタルモール(エスカレーター裏)

時間 11:30～12:00

予約 予約はいりません。



外来の待合場所が会場です

